

朝日寺だより

新年を迎えて

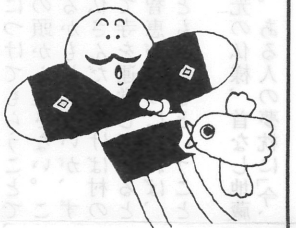
住職 若松隆英



色々な思い出を残した長い昭和の時代が終りを告げて、新しい平成の時代が幕を明けての最初のお正月です。檀信徒の皆様あけましておめでとうございませう。「内平らかに外なる。地平らかに天なる」という年号に込められた願いそのまゝに、世界の二大大国、アメリカとソ連との間では、東西融和の話し合いがされ、東欧諸国においては民主主義の大きなうねりが起きています。今年は九十年代の始まりの年でもあり、大きな節目の年だと思えます。

世の中の移り変わりは年々早くなっているような気がします。一時代前までは、代々同じ仕事をすることが当たり前だと思えますが今は、親子が同じ職業を持つとはかぎりません。それぞれの能力・適性によって職業を選び、努力し、高い名声や大きな富を手に入れる事も夢ではありません。その意味では、今は色々な欲が最高に発揮できる時代であり、人格の向上も欲の発揮を通してはかれるという事にもなると思えます。お大師さまの言葉に次の様なものがあります。「衆生の解脱させるは、只名利を貪るにある」というのですが、解脱しますと、人がこの世で苦しむのは、名譽や利益にこだわると思えます。新聞などを見ますと、毎年色々な事件がおきています。年々その内容が激しくなっています。その多くが欲にとらわれ、欲をはきちがえた手段で満足させようとしたために起こったもの様に思えます。宗教の世界においても、欲の充足をすぐ求める現代人の心に、不安な中で毎日を過ごす現代人の心に、取り入って信じればすぐにかけが

英会 印刷
松代 山印
若松 奥山
隆英 印刷

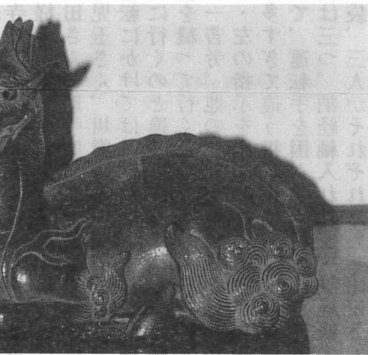


あるかのように言って多額なお金を要求する様な新興宗教があります。しかし手を合わせれば、すぐにおかけが目の前に表われるというものではありません。自分自身の日々の精進・努力、先祖への、まわりの人々への感謝の心、色々なものが積み積って知らず知らずの間に結果となって返ってくるわけですから、先祖代々が仰ってきた真言宗を、そして菩提寺である朝日寺を信仰の中心に置いていただきたいと存じます。

今年高野山においては、お大師さまを継いで高野山第二世として山上を整備された、真徳大徳の一千百年の御遠慮の法会が九月十一日を中心として催されました。真言宗ではお大師さまの陰にかくれて目立たない存在ですが、去年の参議院選で日頃ご主人の陰で目立たない存在のご婦人の存在がクローズアップされた様に、真徳大徳の業績が色々な機会を通じて明らかにされると思っています。

御挨拶

密教婦人会々長 役重 瑛子



龍(朝日寺所有)

明けましておめでとうございませう。謹んで新年の御挨拶を申し上げます。平素は密教婦人会の行事に際しましては、一方ならぬ御協力を頂き誠に有難うございます。平成元年度五月八日のお花まつりも、お天気にめぐまれ、大勢おまいり頂き、また保育園児の皆さんもおまいり下さり、小さい手をあわせ拜む姿は本当にほのぼのとした感じがいたします。あま茶もおいしいといっておかけをしてお子達も喜び、お接待を嬉しうな顔で受取る姿もかわいいものです。

御詠歌の方の奉詠、御詠歌舞踊、そして宝泉寺の御住職の御法話を有難うございました。明けましておめでとうございませう。謹んで新年の御挨拶を申し上げます。平素は密教婦人会の行事に際しましては、一方ならぬ御協力を頂き誠に有難うございます。平成元年度五月八日のお花まつりも、お天気にめぐまれ、大勢おまいり頂き、また保育園児の皆さんもおまいり下さり、小さい手をあわせ拜む姿は本当にほのぼのとした感じがいたします。あま茶もおいしいといっておかけをしてお子達も喜び、お接待を嬉しうな顔で受取る姿もかわいいものです。

年頭にあたって

総代長 島岡 篤

明けましておめでとうございませう。謹んで新年の御挨拶を申し上げます。平素お寺の行事につきましては大変なご協力を頂き誠に有難うございます。昨年は昭和が平成と年号もあらたまり心を新たにしようと思っているうちに、一年がすぎました。変わった報告もございませう。春の霊場巡りも(五月十一日)も一〇三名と云う大勢の御参加頂きありがたうございました。七月の梅雨時期に客殿の雨もり応急修理。十月十二日から第三回四国霊場巡りも好天に恵ま

れ高知、伊子の十七ヶ寺でございましたが今まで最高の五十一名でございまして参りました。平成二年度におきましては既にご承知の密教婦人会で計画されておりますお砂踏み行事の後援を致しておりますが四国八十八ヶ寺のお砂、掛軸、ご旗、等々諸準備を整えております。皆様お揃いでございませう。尚このお砂踏み行事は毎年朝日寺の行事として継続して行なう準備を進めております。例えお砂につきましては四国巡りの際各寺のお砂を頂いて来ております。八十八ヶ寺の掛軸

せていた、きました。花まつりも役員の方、会員の方々の御協力をえまして、無事終ることができました。有難うございました。五月十一日には瀬戸内観音霊場巡り折あしく一日中雨になりましたが、大勢御参加下さり、無事お参りをさせていただきました。平成二年一月十五日には総代会の皆様方の御協力をいただき、お砂踏み並びに大護摩供養を修行大師前に行いたいと思っております。当日は法要の後、おぜんざい等の御接待、空くじなしの福引もございませう。お寒い折ではございませう、どうか多謝おまいり下さいますよう、よろしくお願い致します。

人生の先輩の皆さまへ

下寺 山本 佐興子

野山を彩った紅葉も何時しか散り果て、冬枯れの中、南天の実の毎日朱を増す頃、激動の昭和から平成へとめぐる移り変わり、一年も終り、又新しい年が巡り来ようとしております。そして昭和史と共に生きて私達も六十余年、未だ気持は若いつもりでも、時折折りおりにしるのよる老の影に驚かされる日々でもあります。ともあれこの一年、世の動きの早さに戸惑い乍らも如何にか無事に過ぎて戴きました。

長い間遠ざかっていた運動(敢えてスポーツとは申しませんが)、も、ゲートボールという競技を習い、対外試合にも参加の機会を得ました。正直言って、やはり始めるまでは少々軽く見ていたこの球技ゲームそのものもさる事乍ら、それを通して色々教えられる事が多く、本当に良かったと喜んでおります。先達って新聞の投書欄に、老いる事程悲しいものは無いと書いていた人がおられました。老いれば色々の不都合に遭遇するでしょう。かと言ってそれを嘆いてのみいるのは如何かと思えます。周りの人達はそのまま

で、自分一人が年を重ね、老いるのならばそれは悲しいでしょうが、人は総て平等に年を寄せるもの、若い時美しく輝いて見えたりも、その差はあれ、結果は同じ老朽の身になるのは、昔も今も、そしておそろしく未来までも変わる事はないでしょう。これを思うと少々淋しくなるものの、以前、ある機会に教えられたことな事を思い出しました。それは美しく老いるという事、外見は老いて醜くなくても、唯一つ美しさを保ち続けられるものがある。それは心。心だけは人の努力次第で永遠に美しいまま、居られる

四国八十八ヶ所霊場巡り

檀家の方々も四国を巡り始めてもう二巡目、最初は最後まで廻れるかなあと心細い事を言っていた人も世話なく廻られている。たつてみれば早いものである。今回は高知県西部から愛媛県の西部にかけての距離的には一番遠い処である。前回に続き今回、先発隊の一員として乗用車に乗り込み、納経帳・掛軸をもつてまわった。本来、納経帳というものは、あなたはお寺に参られてお経を確かにならなければいけません。証明に納経帳が書かれたものである。一人一人の方々に納経所で帳面を広げて朱印を押しても

ものだと。平均寿命もどんだのび、いづれ訪れる高齢化社会のきびしさが取沙汰される昨今、これから先十年、二十年、如何なる事や人生で生きて行けるかさえも分らぬもの、明日の為、今日を生きて、この気持で若い人達の重荷にならぬ様、そして美しく老いる事は難しい事かも知れませんが、せめて醜いと言われる事の無い様、頑張ってみようと思っております。人生の、そして老人社会の大先輩の方々、どうぞこの社会での保育園児を、今後ともよろしく御指導下さいませう。御願致します。平成元年師走半



延光寺にて

(裏面に続く)